

## 第2回「(仮称) 郡上市男女共同参画推進条例」策定委員会 要録

期 日 平成29年9月6日(水) 19:30～21:00

場 所 郡上市役所 4階大会議室

出席者 アドバイザー 岐阜大学 新村昌治教授

策定委員 10名(和田康夫、大坪裕、三津橋聡乃、村瀬一将、山下優子、池場利廣、河野奈穂子、平井美津枝、武藤慎也、飯沼麻奈美)(欠席:上村ひとみ、小島昭彦)※敬称略

河合企画課長、酒井主査、和田主査

合計14名

### 1. 開会(平井会長)

### 2. 議事

○事務局より作業について説明

#### 【タイムスケジュール】

7:30～7:35	開会、あいさつ	
7:35～8:30	グループワーク	〔条例の枠組みについて 基本理念について〕
8:30～8:40	各グループ発表(3分ずつ)	
8:40～8:50	意見交換(他のグループとの情報共有)	
8:50～8:55	新村先生講評	
8:55～9:00	あいさつ、閉会	

#### 【グループ】

1 グループ: 平井美津枝、三津橋聡乃、大坪裕、武藤慎也、(河合課長)

2 グループ: 飯沼麻奈美、河野奈穂子、村瀬一将、(酒井主査)(新村先生)

3 グループ: 山下優子、飯沼麻奈美、池場利廣、和田康夫、(和田主査) ※委員敬称略

○グループワークの概要

#### 【1 グループ】

○枠組みについて

- ・「教育関係の支援」を入れてほしい。責務に入ってくるかもしれないが、わかりやすい言葉でいれてほしい。
- ・災害時における男女共同参画は必要でないか。
- ・男女共同参画プランや推進のことが、家庭や地域で周知されるような活動のことも盛り込まれるといい。

○基本理念について

- ・先にプランがあるので、プランの基本理念から外れてはいけない。
- ・男女平等、男女共同参画、みんな大切ということを伝えて、子供のころから意識を変えた方がよいのではないか。
- ・文章の表現としては、理念は肯定的な言葉を使いたい。「暴力はやめよう」とか「ドメスティックバイオレンスをやめよう」とかではなく、「みんなを大事にし合おう」という肯定的な言葉で表現したい。
- ・一番の基本は家庭だと思うので、「家庭から」男女共同参画を始めようということになるのではないか。

#### 【出てきたキーワード】

- ・助け合う
- ・認め合う
- ・分かち合う
- ・家庭から意識を変える
- ・仕事と家庭の両立
- ・誰でもわかる言葉で
- ・理念には肯定的なプラス思考の言葉を使う
- ・否定的な言葉は使わない方がいい
- ・風習
- ・人権
- ・差別
- ・子どものうちに意識を変える
- ・役職を配分する
- ・みんな大事

#### 【2グループ】

##### ○枠組みについて

- ・枠組みについては基本的なところは良いが、「実現すべき姿」などは入れるとわかりやすくしてよいのではないか。また、「情報の提供」「調査」も必要ではないか。
- ・責務については、「教育者の責務」として掲げてあるところもあるが、教育分野はかなり人権について取り組んでいるので、あえて「教育」として掲げなくても家庭に含んでしまってもよいのではないか。
- ・意見はいろいろあるが、基本的には提示された枠組みでよいということであった。

##### ○基本理念について

- ・人権はメインのキーワードでそこから派生して施策となっていく。
- ・「ワークライフバランス」は郡上の中でも大きな課題となっている。保育所の問題などもある。
- ・「参画」については地域性もあるが、世帯主も自治会長も男性社会であり、なかなか女性の意見が出にくいということもある。
- ・「DV」についても郡上でも聞くようになった。

- ・「性差別」などもある。
- ・職場の中での課題は大きい。女性は出産などもあるので、そのようなことも含めた処遇や職場の環境改善などが必要。
- ・教育については、子供のころから意識を高めていくということが大切。学校ではすでに人権などについて教育がされているので、家庭の中での教育が必要。親が姿で見せていくということが基本になってくるのではないか。広い意味での教育が必要。
- ・「多様な生き方」もこれからのに向けた姿として掲げていけるといいかと思う。
- ・基本理念については仕方がない部分もあるが、前向きな表現の条例ができるとうい。

#### 【出てきたキーワード】

- ・人権
- ・ワークライフバランス（郡上でも重要）
- ・参画の大切さ
- ・DV
- ・性差別、LGBT（職場でもある）
- ・子供の頃からの教育（家庭が基本になってくる）
- ・多様な生き方（これからの生き方）
- ・機会均等

#### 【3グループ】

##### ○枠組みについて

- ・枠は提示された形でよいのではないか。シンプルにした方が読みやすいのではないか。

##### ○基本理念について

- ・冒頭の「男女」で分けるのはどうか。今は、男女で分けられない性別の人もある。「個性」とか「個々」という言い方がよいかと思う。
- ・「男女の役割分担」ということが言われるが、郡上のような田舎ではお互いに持ちつ持たれるようなことも多くあり、それがうまくいっていればそれはそれでよいのではないか、うまくいっていない場合は考えないといけない。そのことから「男女の不平等」とはいったい何であるのか。
- ・暴力のは廃絶
- ・人権は大切に守られるべきものである。
- ・理念自体が、漢字の言葉が多くわかりにくいので、わかりやすい表現だとよい。
- ・否定的な言葉を使わない、前向きなプラス思考のものになるとよい。
- ・社会全体で「男女共同参画社会をつくるんだ」というくらいの理解が必要。
- ・男女共同参画の推進について民間が強く推進し、市がついてくるくらいがいい。

#### 【出てきたキーワード】

- ・男女でくくられることなく
- ・なぜ男女か？→個々 多様な性も認める

- ・男女でなく個々、個性
- ・性同一障害者のこと、入れるか？
- ・男女とも持ちつ持たれつ
- ・男女による不平等は何か？
- ・わかりやすい言葉で！ ×「固定的な役割分担意識」
- ・社会の支援、会社の支援→社会の理解→社会の責務→男女共同参画社会を作るために社会全体が責任を持つ
- ・人権は大切→守られるべきもの
- ・差別いじめがないように
- ・全てが国際的な動きと強調して行われている
- ・暴力の廃絶
- ・民間が強く、行政がついていく感じになるとよい

### (3) 意見交換

- ・プランが先行してあるのでプランは絶対であると思う。また、「男女」という表現については、山口市は「すべての人」という表現を使っているので、そのようにした方がよいかと思った。
- ・私たちの意識はもう固定されてしまっているのので、子供のうちから意識を変えると自然に男女で助け合うことができると思った。また、役職を配分するのも大切かと思った。自治会長は全員が男性であるが、半分は女性を起用するなどになるとよいかと思う。
- ・基本理念については、自分の中になんとかはあるけれど、言葉にできなくて難しいと感じた。これから責務など作っていくにあたって、言葉を一つひとつ大切に作っていかないといけないと感じた。
- ・グループで深く掘り下げてもらって共同参画の大切さがわかった。
- ・すでにプランができていますのでプランを盛り込んでいきたい。そして、わかりやすい言葉で誰もが身近に感じられる条例を作れたらよいと思った。
- ・誰もがわかりやすい表現のものを作っていけたらよい。まずは家庭から身近なところから進めていけたらいいと思う。本日の意見にも子供の頃からとか家庭が基本という意見があったので、そこが大切かと思った。
- ・自分の周りで差別されて困るということはないので、そんなもんなのかなと思ったが、今日話を聞いておぼろげながらも困っている人がいるんだなとわかったので、そんな人たちの支えになるような条例ができたらよいと思った。
- ・男女共同参画については、私自身は「なんで今更」という思いがある中で、ずいぶん難しい会議だと思っている。よく考えると、自分でも知らないうちにセクハラやいじめをしているんじゃないかと思っている。
- ・先日の会議後、自分でも条例を考えてみたが、難しい言葉を使わないと条文を考えられなかった。っと優しい言葉で作ってみようと考えている。
- ・私たちのように年を重ねると、「女性はこうあるべき、男性はこうあるべき」「母親だったらこうあるべき」となり「べきべき」になってしまうが、そのような考えでなくもっと柔らかい考えの中で生きていけたらいいのかと思う。

### (3) アドバイザー講評

理念という抽象的な難しい言葉を並べるというイメージがあるが、本日の皆さんの話から非常に具体的なところを結び付けながら理念を考えようという場になっていることを感じ、素晴らしいと感じた。本日出てきた、「わかりやすく」とか「前向きな表現で」とかそういうことを一つ一つ考えて理念を作っていくと、出来上がりが非常に楽しみである。「こういう努力でできた理念の条例なんだよ」ということを市民にわかってもらえたり、思いが伝わるような理念があって、それを実現していくための具体的なことが述べられていると、まさに自分たちが作ったという条例ができる感じがして楽しみである。

ただ実際にやってみようと思うとかなり難しいと思っている。男女共同参画の理念という、だいたいできているので新しいものを盛り込むことは難しい。内容的には今あるものを使うとしても、それをどう表現していくか、わかりやすく豊かに表現していくというところに大きな個性がでてくると思っている。

「男女」については、「男」と「女」がという対立構造の中で「男女」と表記しているのではなく、「すべての人」という意味で使われていると思うので、必ずしも「男女」という言葉を「男」と「女」というように理解しなくていいと思う。

そして、民間がリードするという話は、女性活躍推進法ができて民間は女性が活躍することを求めているので、多分市はおいてきぼりになると思う。民間の方がどんどん進むと思うので、行政がしっかりしないと遅れてしまうという社会情勢であるということを知っておいた方がよいかと思う。否応なく進んでいく方向なので、それをよりいい形で進めていけるようにしたいと思う。

### (4) 事務局より今後の予定を説明

本日の意見等を組み込んで基本理念と前文をまとめ、委員の皆さんに郵送するので、次回の会議までに目を通してきていただきたい。

## 3. 閉会（池場副会長）

以上